

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

活動へのご協力をお願いします！

概要

- ・「トライやる・ウィーク」とは、平成10年度より兵庫県教育委員会が、「心の教育」の充実のために始めた事業。
- ・「トライやる・ウィーク」の名称は「挑戦する：トライ」とともに「学校・家庭・地域の三者：トライアングル」の意味が込められている。
- ・各中学校区推進委員会が中心となり、学校・家庭・地域の連携により推進する。
- ・中学生が地域での様々な体験活動を通じて、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけられるよう支援する。

ねらい

- ・地域での体験活動により、ともに生きる心や感謝の心を育み、「生きる力」を育てる。
- ・地域や自然の中での様々な活動や体験を通して、豊かな感性や創造性を高める。
- ・地域の人々の温かさ、地域の良さやふるさとの恵みにふれ、地域とのつながりを深める。

対象

公立中学校・特別支援学校中学部2年生、義務教育学校8年生生徒

期間

各中学校・義務教育学校・特別支援学校が設定する月曜日～金曜日の5日間

活動内容例

農林水産体験活動、職場体験活動、文化・芸術体験活動、ボランティア・福祉体験活動、その他（外国人との交流、情報・科学技術・環境等に関する活動）

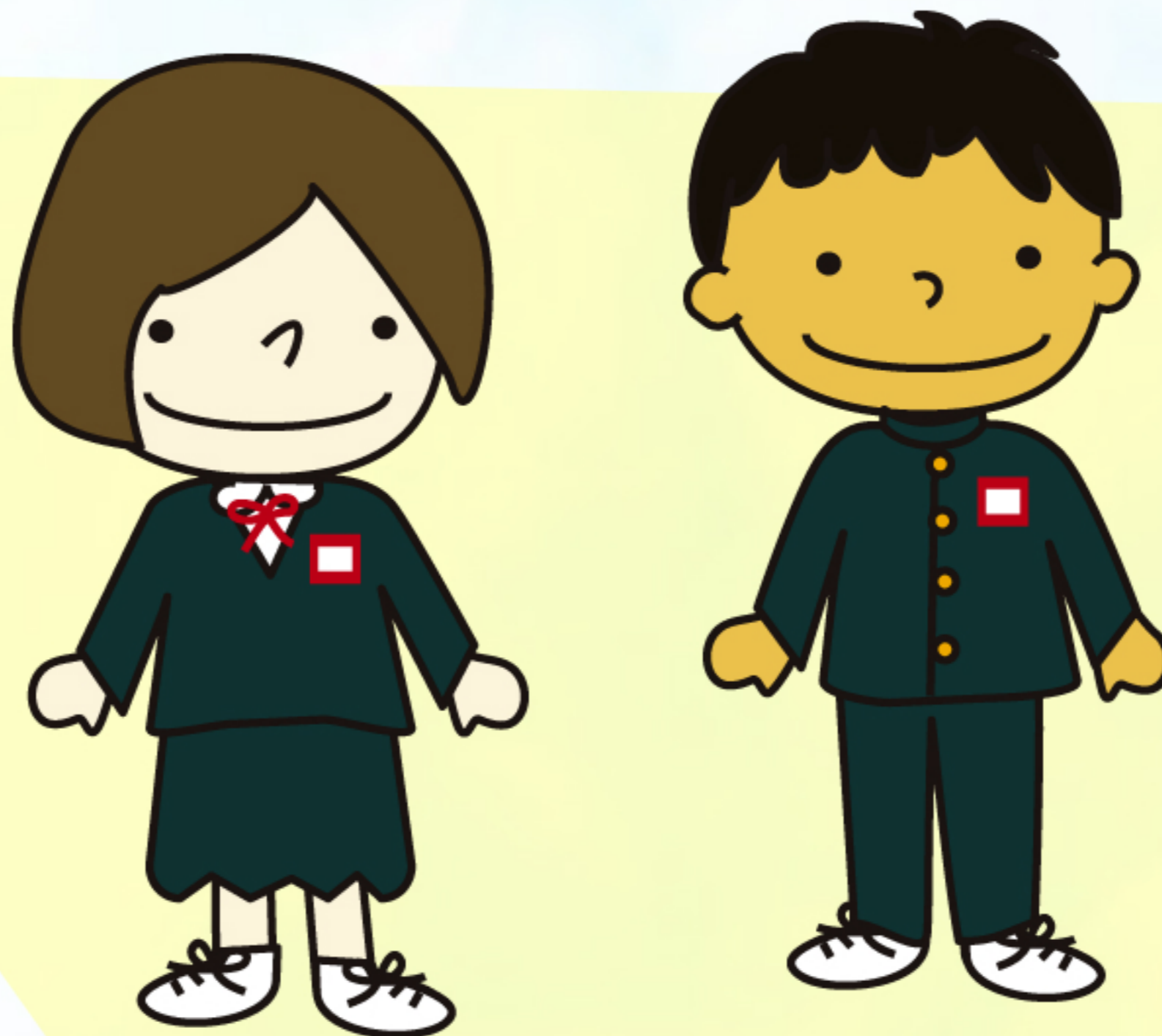


未来をになう子どもたちの育ちには地域の力が必要です

学校



家庭



生徒の感想

- ・トライやる・ウィークでは、働くことによって、人の役に立つことよりも人を幸せにしたり元気を与えたりすることができるということを知りました。これからは、勉強だけではなく、人と触れ合う大切さを理解して生活してみようかなと思います。
- ・働くということは大変なことだけれど、その分楽しいことやうれしいこともあるということが分かりました。これから、委員会や係の仕事一つ一つに責任を持って行動します。
- ・今までは将来の夢とか全然考えてなかったけど、トライやるをとおして、将来、人の役に立つような仕事をしたいなと思いました。

保護者の感想

- ・自分が考えて動いたことで喜んでいただけた経験は、自主的に動く大切さを肌で感じられ、今後の生き方に影響を与えるよい機会になったはずです。
- ・社会に出ることや社会人に対して憧れが芽生えたようで、保護者としても大変うれしく思いました。

事業所の感想

- ・生徒の皆様には、仕事に対して真面目に、真剣に取り組んでいただきました。仕事の難しさを体験いただけたと思います。
- ・大変有意義な活動と捉えています。今後もこちらの都合がつく限りは協力したいと思います。地域と繋がれるから良いと思います。

地域



詳細・受入登録はこちらから

